

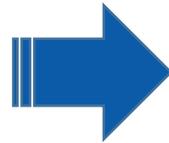
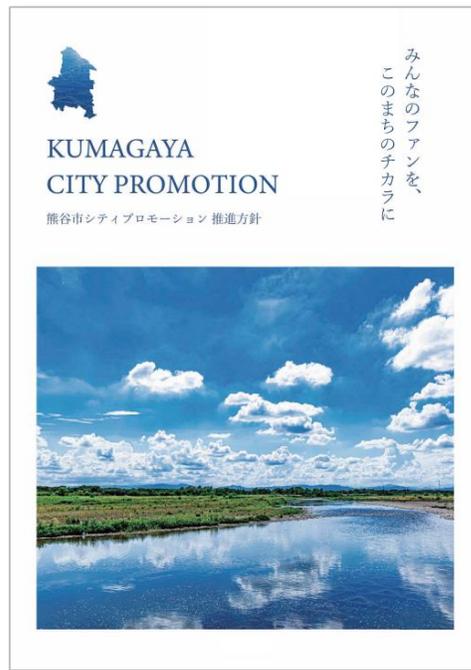


熊谷市シティプロモーション 事業計画2024

1. 事業計画 重点テーマ
 2. 重点テーマ達成のための3つのフェーズ
 3. キャッチコピー・ロゴ
 4. 動画（映像制作）
 5. 動画（楽曲制作）
 6. シティプロモーションサポーター登録制度
 7. 効果的なプロモーションに向けて
-

「シティプロモーション推進方針」策定の翌年である令和6年度は、「理解促進」と「仲間づくり」を重点テーマとし、シティプロモーション事業を展開する。

2024年3月策定



事業計画2024 重点テーマ

理解促進

インナープロモーションとして、シティプロモーションに関わる人（仲間）の理解を深める活動を行う。

仲間づくり

シティプロモーション活動を行う「仲間」の登録制度を作り、共に「魅力づくり／魅力発信」を行う体制を整える。

2.重点テーマ達成のための3つのフェーズ

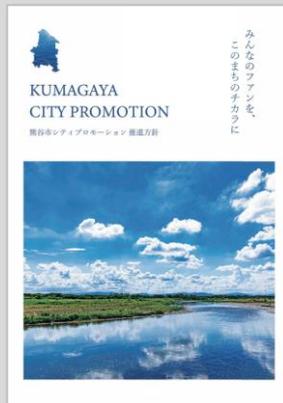
重点テーマの達成に向けた戦略として、以下3つのフェーズでそれぞれの事業を実施する。

2023

2024

1

『ビジョン』
をデザインする



「シティプロモーション推進方針」の行動戦略では「魅力づくり・魅力発信の仲間を作り、発信する情報の総量を増やすこと」を目指すこととしている。

2

『コミュニケーション』
をデザインする

以下の方法によって『ビジョン』をわかりやすく表現し、シティプロモーションに関するコミュニケーションが生まれるよう働きかける。

キャッチコピー・ロゴ

動画

また、よりシティプロモーションを理解し、協力してくれるメンバーを集めるための登録制度を設ける。

サポーター登録制度

3

『共創』
をデザインする

以下事例のような事業によって、民間との共創による魅力づくり、魅力発信を展開する。

人の魅力を共創
『OurPlace』

モノの魅力を共創
『熊谷ブランド』

その他共創事業

シティプロモーションに関わる人との円滑なコミュニケーションを目指し、熊谷市シティプロモーションの「世界観」や「デザイン性の統一」を、以下のキャッチコピーを設定することにより具体化する。キャッチコピーは、ロゴや動画、各種デザイン等に反映させていく。

熊谷市シティプロモーションキャッチコピー

あした

進め、明日のその先へ

シティプロモーション推進方針で掲げたキャッチコピーとの使い分け

シティプロモーション推進方針の表紙に記載のある「みんなのファンを、このまちのチカラに」は、推進方針の未来像を端的に表現するためのキャッチコピーである。
今後は「進め、明日のその先へ」をシティプロモーションのキャッチコピーとして使用する。

ロゴへの展開イメージ

キャッチコピーをそのままロゴタイプとして使えるよう、文字のインパクトも持たせつつ、ロゴマークとキャッチコピーと自治体名を組み合わせるなどの使い方も想定。

「熊谷の未来へ、市民と一緒に進んでいく」ことを表現した動画を、様々な方の協力を得て制作する。

キャッチコピーに基づき、シティプロモーションの「世界観」が伝わる動画を制作する。
動画の楽曲は、キャッチコピーに使用したキーワードの引用元である「THE COLLECTORS」の「パレードを追いかけて」を使用し、右記の映像制作事業の事業概要説明書のとおり、市民が多く出演する構成とする。

<動画の仕様>

長さ	本編 180秒
	ダイジェスト版（横） 30秒
	ダイジェスト版（縦） 30秒
画質等	画質：フルHD（1920×1080）以上 ファイル形式：MP4

事業概要説明書
(2024年7月現在)

熊谷市
シティプロモーション動画
クマガヤパレード
飯
kumagaya parade

一人の少女から始まるきれいで、あったかくて、懐かしい「パレード」。
あなたもきっと列に加わりたくなる。

コンセプト
熊谷に暮らす人々が日々を歩み続ける姿、そして合併して20周年、未来へ進み続ける様を「パレード」と見立てて、「クマガヤパレード」に参加したくなる＝熊谷に会いに行きたくなるそんな映像を目指します。

ストーリー
早朝の熊谷、とある場所で一人、トランペットを吹き始めた少女。その曲に合わせて、熊谷の街が動きだしていく。熊谷に関わる人たちへのインタビューから、あたたかい人間味を感じながら「パレード」は熊谷各地を進んでいく。歴史、グルメ、懐かしい景色、熊谷の魅力をかき集めて大きくなった「クマガヤパレード」は様々な人を巻き込みながら満開の桜を未来へと進んでいく。

楽曲
「パレードを追いかけて」 THE COLLECTORS
本バンドのボーカルであり、本楽曲の作詞作曲をしている加藤ひさしさんは熊谷市出身で、妻沼東中学校の卒業生。加藤ひさしさんを含め、バンド、レコード会社に本企画の協力を相談し、許諾を頂戴後、熊谷吹奏楽団に協力していただき、楽曲をアレンジし、その演奏を収録。さらに地元の子どもの声や、ボーカルの加藤ひさしさんの歌声を重ねて、本企画のためのオリジナル楽曲を制作。

完成予定 2025年7月末
お問合せ 熊谷市役所 広報広聴課 ☎048-524-1111

動画で使用する楽曲「パレードを追いかけて」に、アレンジを加え、オリジナル版を制作する。

< 楽曲概要 >

「THE COLLECTORS」のボーカルであり、本楽曲の作詞作曲をしている加藤ひさしさんは熊谷市出身。妻沼東中学校の卒業生。2022年11月に「パレードを追いかけて」を発表。

その後ブラスバンド用のアレンジ音源と譜面を公開し、ブラスバンド演奏者の映像/音源を募集するという企画を立ち上げる。2024年1月には、企画に応募してくれた妻沼東中学校で講演し、吹奏楽部とともにこの楽曲を演奏した。

< アレンジを加えたオリジナル版の制作 >

本企画の軸となる「市民参加」を踏まえ、市民団体として実績のある「熊谷吹奏楽団」へ協力を打診し、オリジナル版の制作を進めることとする。

< 楽曲情報 >

作詞・作曲

加藤ひさし

出版社

フジパシフィックミュージック

レコード会社

コロムビアソングス株式会社



「パレードを追いかけて」 THE COLLECTORS

歌詞

君が君らしくなれる 場所をずっと探してたんだね
なのに見つけれずに 今日も日が暮れる

君の好きな服を着て 好きなアクセント 喋ればいいのさ
君が誰なのか決めるのは 君だから

パレードを追いかけよう どこまでも
ひとりの声じゃ聴こえないから みんなで歌おう
パレードは進んで行くよ どこまでも
さあ！ 歩いて行こう **明日のその先へ**

胸の奥に隠してた 言えなかった 本当の気持ち
言葉に換えて伝えるんだ 世界中に

パレードを追いかけよう どこまでも
ひとりの声じゃ届かないなら みんなで叫ぼう
パレードは進んで行くよ どこまでも
さあ！ 歩いて行こう 夢みたその場所へ

パレードを追いかけよう どこまでも
さあ！ 君もおいでよ **明日のその先へ** Oh Yeah
パレードを追いかけよう どこまでも
ひとつの声も重なり合えば 遠く響くよ
パレードは止まらないよ いつまでも
さあ！ 歩いて行こう 夢みたその場所へ

- 市が行うシティプロモーション活動に賛同し、自発的なまちの魅力発信を行う事業者等（企業、学校、団体など）を登録する制度を定める。
- 市が登録されたサポーターと積極的にコミュニケーションを取ることで、シティプロモーションの軸を保ちながら、ファンに向けて発信する情報の総量を増やしていくことを目指す。

サポーターとしての活動イメージ

- (1) 社員や顧客向けに市のPR情報の発信
- (2) 社用車や店舗等への市のPR情報の掲示
- (3) 商品パッケージ、チラシ、名刺等への市のPR情報の掲載
- (4) 市のPR冊子の作成又は配布
- (5) 市をPRするためのタイアップ商品等の開発
- (6) 市の広報及びプロモーション活動への協力
- (7) 市の公式SNSのフォロー、シェア、タグ付け等
- (8) その他

登録・認定方法

- 申請書による書面申込→サポーター認定書郵送
- WebサイトによるWeb申込→サポーター認定書郵送

登録のメリット

- サポーターであることを地域に示すことができる
- 社員の地域への関心度、愛着度を高められる
- 市が行うシティプロモーション活動に参加できる
- 市とタイアップ商品の開発ができる

※ シティプロモーション動画へのエキストラ出演の募集を行う。

※ 「熊谷ブランド」の認定基準に、本制度に登録していることを条件とする。

- **キャッチコピーとロゴの使用・活用について**

キャッチコピーとロゴは令和6年度、完成次第使用する。下記例のような場面で活用し、露出を増やすことによって、シティプロモーションの認知を高めることとする。

活用例（キャッチコピー＋ロゴ）

市報、パンフレット、ポスター、名刺等

活用例（キャッチコピー）

熊谷市誕生20周年での活用／メール署名等

- **動画の活用について**

令和7年7月末に完成し公開、サイネージ等で放映するほか、20周年式典でも活用する。